

事務事業 No./名称	■サービス部門 教育-34 □支援部門		図書館管理運営事業							
主管課	中央図書館	関連課								
分野名	生涯学習									
目標 (目標値)	健やかで心豊かに暮らせるまち 豊かな生涯学習社会の創造を目指します 貸出冊数及び資料相談体制の充実									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
事業の対象者数	102,371人	97,997人	93,140人							
運営資源 状況	決算値(千円)	134,454	144,883	143,929						
	(国・県)		6,322							
	(負担金等)		2,009	1,218						
	(一般財源)	134,454	136,552	142,711						
	人員配置数	22.8	23.0	23.0						
	人件費(千円)	181,303	198,289	200,934						
	協働の パートナー			図書館とともだち・鎌倉						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	315,757	343,172	344,863						
	市民1人当 りの経費(円)	1,782	1,937	1,946						
	対象者1人 当りの経費(円)	3,084	3,502	3,702						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	平塚市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市	大和市	小田原市	秦野市
	月1回の休館	○	月2日(総合館のみ)	×	×	月3日	×	×	○	×
	宅配サービス	○	×	×	×	○	○	×	×	×
	住民一人当り貸出数	9.00	9.83	5.64	4.06	10.18	3.90	4.52	2.45	3.64
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
貸出冊数	◎	目標値	1,365,000冊	1,365,000冊	1,421,000冊	1,421,000冊	1,421,000冊			
		実績値	1,526,743冊	1,565,655冊	1,562,987冊	1,522,408冊				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
図書館運営事務	49,355千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ ■A □B □C □D □E	市内5か所の図書館で、図書の間覧、貸出、レファレンスを行うほか、図書館のサービスエリアから離れた地域住民、活字資料の利用が困難な方も等しく必要な情報を得られるようICT技術の活用、ボランティア団体の協力を得て運営している。	
資料収集・貸出事業	65,961千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ ■A □B □C □D □E	市内5館全体の蔵書バランスを考慮し、効果的な資料収集に努めている。歴史的資料、書店で購入できない地域資料、行政資料の収集にも重点を置いている。	
図書館管理事業	19,138千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○	⇒ ■A □B □C □D □E	図書館としての日常的な業務を遂行するための施設管理と、施設の老朽化に対して、計画的な修繕を行い図書館機能を維持すること。	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要	
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要	

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	図書館を情報発信の拠点と位置付け、市民の利用を増やす。また、そのための業務量の増加への対応。		
課題解決のための取組	市民協働による図書館振興事業の展開	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	より市民のための図書館をめざし、第二次図書館サービス計画の策定を進める。予約・貸出・レファレンス・他機関との連携・協力事業等年々増加する業務量への対応		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		集客機能の充実を図り、ボランティア団体との協働を進めながら、図書館振興を図っていく。ICT技術や情報収集提供等に専門的な技術を持ち、地域の課題に能動的継続的にかかわることができる職員の研修養成に取り組む。	課長等名	
		③有効性 ○			A	中央図書館長
		④公平性 ○				菊池 隆

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
図書館運営事務	主な個別事業	183 図書館協議会委員 報酬	168	168	○	○	○	○
		183・933 図書館業務嘱託員 報酬	44,224	43,824	○	○	○	○
		183・933 図書館業務嘱託員費用弁償	2,781	2,118	○	○	○	○
		資料整理文具等消耗品費	1,235	1,235	○	○	○	○
		933 ブックスタート事業の推進	1,286	1,285	○	○	○	○
資料収集・貸出 事業	主な個別事業	近代史資料調査収集室嘱託員報酬	1,680	1,680	○	○	○	○
		184 一般図書等資料等消耗品費	31,797	31,945	○	○	○	○
		184 巡回業務等委託料	4,500	3,984	○	○	○	○
		184 図書館情報システムコンピュータ機器賃借料	23,819	23,416	○	○	○	○
		有料データベース使用料	760	760	○	○	○	○
		鎌倉市図書館振興基金寄付積立金	700	680	○	○	○	○
図書館管理事業	主な個別事業	186 光熱水費	5,557	4,963	○	○	○	○
		186 施設維持補修事業	2,298	2,285	○	○	○	○
		186 電信料	664	523	○	○	○	○
		186 施設維持管理事業	8,844	8,711	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							